



hot topics

## 100歳おめでとございます

令和7年度に満100歳になる26人に、お祝い状や記念品が贈呈されました。

清武玉枝さんは日本舞踊(藤間流)の舞踊家として活躍してきました。近年は膝を痛めてしまい以前のように踊れなくなったそうですが、今でも指導を続けています。昭和33年に「小郡音頭」の振付を手がけたことを振り返り「誰でも気軽に踊れるように簡単な5つの動きを組み合わせた」と、振付に込めた思いを話してもらいました。



清武玉枝さん(左から2番目)

新原フヂエさんは、今でも夏休み期間にはラジオ体操で子どもたちと一緒に体を動かしています。他にも手芸や俳句など多彩な趣味があり、シルバー川柳では、高齢者のよくある体験をユーモアを交えて詠んでいます。

その他にも6人を加地市長が訪問して直接お祝いし、戦時中の体験や小郡での生活などさまざまなエピソードを聞くことができました。これからもお元気でお過ごしください。



新原フヂエさん(右)

hot topics

## 立石小学校の給食が県で最優秀賞

立石小学校の調理員が考案した献立が、10月16日に行われた福岡県学校給食料理コンクールで見事最優秀賞に選ばれました。

献立のポイントは、栄養バランスのよい食材を取り入れるだけでなく、小郡市や筑後地域でとれた野菜・きのこ類をふんだんに使っていること。また、海苔を使った味付けや隠し味のベーコン、カラフルな見た目など、おいしく食べられる工夫も凝らされています。

県大会に先立って立石小学校の給食に登場し、子どもたちにも大人気。レシピは市ホームページで公開中です。



hot topics

## 曇る名月、宝満川で

中秋の名月の10月6日を前に、宝満川の河川敷で子どもチャレンジ講座「天体観望会」が開かれました。

プラネタリウムで解説員として活動していたこともある地域おこし協力隊の笹月将さんを講師に、望遠鏡を使って月を観察……のはずが、この日はあいにくの曇り空。残念ながら明るい月を見ることはできませんでした。

それでも、雲の向こうにあるはずの月を思い浮かべながら、天体にまつわるさまざまな話を聞いた子どもたちは「これから夜空を眺めるのが楽しみになった」と話していました。

